

みんな 平成21年度決算報告と町の財政状況 で 学ぼう わが町のお金の使い道



彦左衛門さん



えこたん

今年もわが町の台所事情をお知らせする時節となりました。平成21年度の1年間で町が使ったお金の中身をご覧いただき、今後の町政の動きを知っていただきたいと思います。

今年も財政事情に詳しい町のご意見番「彦左衛門」さん（文中では彦左さん）の登場です。質問者は、環境と都市交通のイメージキャラクターの「えこたん」、進行役は広報担当「R」が務めさせていただきます。

◆ 一般会計

R：それでは、21年度の決算の特微から教えてください。

彦左さん：ん、一般会計の決算は、20年度と比べると歳入も歳出も増えておるわけじゃが、世界的な経済不況が回復せず、20年度より、さらに法人町民税が大幅な減収となってしまうたんじゃ。

えこたん：大幅な減収なのに、どうして歳入も歳出も増えたんですか？

彦左さん：それはな、20年度に引き続き法人町民税が減ったときにだけ借りることができてる減収補てん債という借金を13億円したため歳入が増え、経済不況が出口の見えない状態だから、将来に備えるため、14億円を基金に積立してたから歳出も増えたのじゃ。

えこたん：じゃあ余分にたくさん使ったわけじゃないんですね。

彦左さん：そうじゃよ。計画に沿って事業は行われたのじゃ。

R：それでは21年度はどんな施設整備が行われたのですか？

彦左さん：それじゃあ、21年度に取り組んだ大きな事業について話をするかの。

まず、一番大きな事業は何といっても新駅設置および周辺整備事業じゃな。平成23年度末の開業に向けて着々と工事が進んでいるぞ。

それと、20年度から工事していた新給食センターが完成したのじゃ。民生費では、障害者地域活動支援センターの建設を行ったのじゃ。

農林水産業費では、不動ヶ池親水公園が完成し、そのほか大井池防炎ダム整備などが進められておるところじゃよ。次に土木費。道路新設改良事業では、野場横落線、永野菱池1号線などの道路整備工事を行ったのじゃ。

消防費では、救助工作車を更新し、教育費では、中央小、北部中の太陽光発電設備設置関連工事を行ったのじゃ。

これらをひっくるめて普通建設事業と言ひ、総額にすると約21億円、歳出予算全体の15・3割とこれまでと比べると低く抑えられたのじゃ。



▲障害者地域活動支援センター

費目別のグラフを見るとそのへんがよつ分かるのじゃ。
えこたん：費目別グラフを見てみると積立金と補助費などが増えていますね。

彦左さん：そうじゃな、健全な財政運営を維持するための積立金を14億円増やし全体で66億円を貯めてあるんじゃ。補助費は国や県、ほかの団体に対する負担金や補助金じゃが、定額給付金や子育て応援特別手当などにより大幅に伸びたんじゃ。

R：それでは、そのほかの主な費目もどんなものが教えてください。

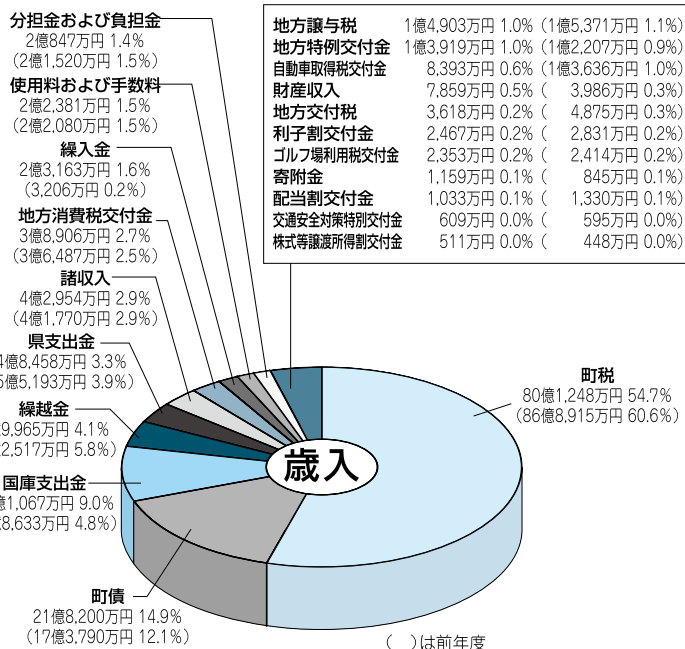
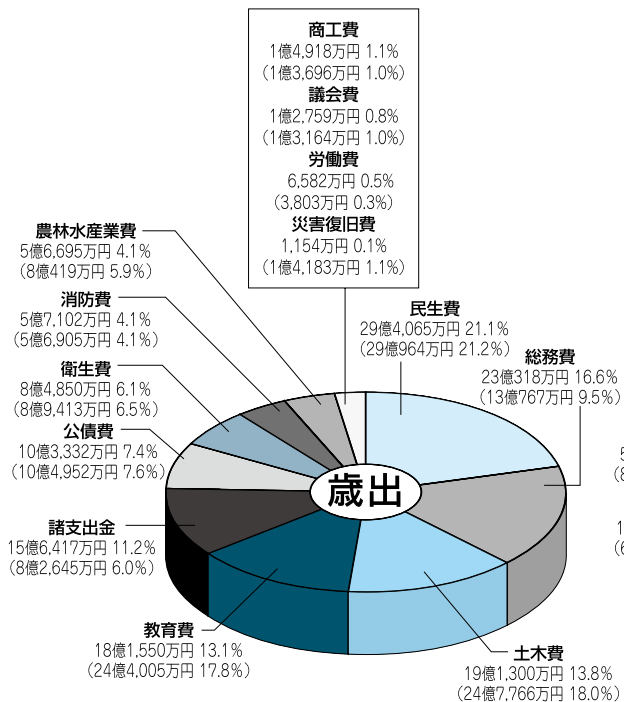
彦左さん：それじゃあ、物件費から説明しようかの。これは、役場など公共施設で働くパートさんの賃金をはじめ事務用品などの消耗品に使われたもので、一番大きいのはなんと、いって委託料じゃな。公共施設を維持していくのに必要な施設の管理や保守点検を専門の業者に委託した経費で、町民会館・図書館・町民ホール・高齢者生きがいセンター・高齢者ふれあいプラザ・道の駅の6つの施設は指定管理者制度によって管理運営を委託しているのじゃ。

次は扶助費じゃな。社会福祉や老人福祉、中学校卒業までの子ども医療費の無料化などの医療助成や児童手当のことじゃよ。

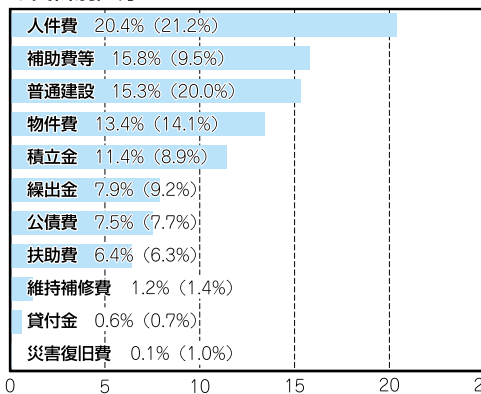
えこたん：安心して子育てができますね。

歳出 139億 1,042万円
(前年度：137億 2,682万円)

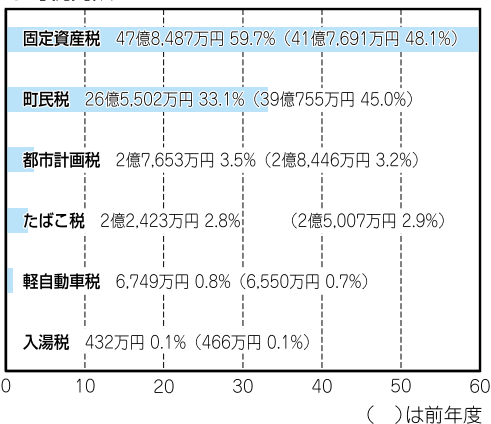
歳入 146億 4,013万円
(前年度：143億 2,646万円)



○費目別区分



○町税内訳



彦左さん…次に公債費は、借金の返済に充てられたものじゃ。21年度は残念ながら不況の影響で、22億円も借りたため10億円返済しても借金残高が増えてしまったが、今後は、頑張って減らしていかなきゃ！

えこたん…ダジャレですか？

彦左さん…いや、本気で取り組み減らしていくんじゃ！

次に繰出金は…

えこたん…それはまかせてください！幸田町には特別会計や企業会計というのがあって、その特別会計を運営するために支出するお金のことを繰出金って言うんですよね。

彦左さん…そのとおりじゃ。

これまでの話は、一般会計と違ってな、税金などを財源として行政活動の基本的な経費を賄っておるのじゃ。幸田町にはそのほかに一般会計とは別に区分されておる8つの特別会計と1つの企業会計が設けられておるのじゃ。

◆特別会計・企業会計

R：では、21年度の幸田町の特別会計と企業会計でどのようにお金が使われたのか教えてください。

彦左さん：よっしゃ。一般会計は主に税金を財源として運営されておるのじゃが、特別会計は、ある特定の事業を行うために、特定の歳入・歳出を一般会計と区分して経理するための会計なのじゃ。

ここからは21年度の特別会計と企業会計について、一つずつ説明していこうかの。

まずは、**土地取得特別会計**じゃ。この会計は、公用・公共用に使われる土地や公共の利益のために事前に土地を購入するための会計なのじゃ。

21年度は、町道用地などの先行取得と、公債費（借金）の返済が主なものじゃった。

国民健康保険特別会計はな、ほかの健康保険などの適用を受けない町民の皆さんが病气やケガをした時に本人の負担以外の医療費を医療機関などに支払ったり、出産や死亡した時に経費の一部を加入者みんなで支給したりする会計なのじゃ。

21年度末の加入状況は、4、546世帯8,784人がこの保険

に加入しておるわけじゃ。

老人保健特別会計はな、後期高齢者医療制度の発足に伴い制度は廃止となり、過年度分の精算などのみとなり大幅に減額となったのじゃ。

後期高齢者医療特別会計はな、75歳以上の高齢者に係る医療保険に関する会計じゃ。

後期高齢者医療に関しては、医療費の給付などは広域連合にて行い、この特別会計では、保険料の徴収と健康診断などの事業を実施しておるのじゃ。

介護保険特別会計はな、高齢になつて、介護が必要となった場合に受ける介護サービスの本人負担以外の経費を、加入者と税金で負担し介護施設などに支払っておるのじゃ。

21年度末では、537人が要介護、183人が要支援の認定を受けて各種サービスを受けたのじゃ。

次は、**幸田駅前土地区画整理事業特別会計**じゃ。

この会計は、幸田駅前地区の区画整理事業を円滑に施行するための会計じゃ。

21年度は、建物移転補償などの事業が主なものじゃった。

農業集落排水事業特別会計はな、幸田町は、全町下水道化を推進しており、この会計は農村集落の環境整備の一つとして進められ

ておるのじゃ。町内13地区すべて供用開始されており、それらの施設の維持管理を行っておるのじゃ。

下水道事業特別会計はな、農村集落以外の市街地の下水道整備などを運営しておるのじゃ。

幸田町では、既存の市街化区域の整備がおおむね完了し、周辺集落区域と新市街化区域の整備をしたのじゃ。

21年度末で農業集落排水と下水道などの汚水処理人口は、36,318人となり、普及率は99.6%となつたわけじゃ。

最後は、**水道事業会計**じゃ。この会計は企業会計と言つてな、幸田町の水道事業の運営がされておる会計なのじゃ。

幸田町の水道普及率は21年度末99.6%で、水源は県企業庁から水を買って各家庭に配水しておるのじゃ。21年度の総配水量は約439万立方分で、1日に永野水道山タンク2.4杯分で、不況の影響で企業の使用量が落ち、20年よりも8万立方分減少となつたわけじゃ。

どうじゃな、この厳しい状況の中、限られた財源を生かして、幸田町では実にさまざまな事業が進められておるのじゃ。分かつてもらえたかのう。

えこたん：よく分かりました。世界的な不況になり、家計と同じで

■決算状況

会計名		歳入 (a) (伸び率)	歳出 (b) (伸び率)	差額 (a) - (b)	
一般会計		146億4,013万円 (2.2%増)	139億1,042万円 (1.3%増)	7億2,971万円	
特別会計	土地取得特別会計	4億6,078万円 (1.3%増)	4億3,601万円 (4.1%減)	2,477万円	
	国民健康保険特別会計	26億7,044万円 (1.2%減)	26億2,467万円 (0.9%減)	4,577万円	
	老人保健特別会計	735万円 (95.9%減)	538万円 (97.0%減)	197万円	
	後期高齢者医療特別会計	2億3,394万円 (2.8%増)	2億3,305万円 (3.5%増)	89万円	
	介護保険特別会計	12億2,953万円 (3.3%増)	12億661万円 (3.9%増)	2,292万円	
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計	3億8,044万円 (38.5%増)	3億5,954万円 (35.2%増)	2,090万円	
	農業集落排水事業特別会計	4億4,161万円 (24.6%増)	4億3,391万円 (25.1%増)	770万円	
	下水道事業特別会計	8億8,013万円 (2.6%減)	8億6,966万円 (1.6%減)	1,047万円	
企業会計 (税抜き)	水道事業会計	収益的収支	6億2,730万円 (4.3%減)	5億9,619万円 (4.5%減)	3,111万円
		資本的収支	1億6,293万円 (22.8%減)	4億29万円 (66.7%増)	▲2億3,736万円
総合計		217億3,458万円 (1.2%増)	210億7,573万円 (1.5%増)	6億5,885万円	

※歳入には翌年度繰越明許費（事業財源分）一般会計1,859万円、駅前特会1,359万円を含む

指標で見る財政情報

経常収支比率

経常的・義務的経費にあてる割合
65～75 歳…適正
75 歳以上…要注意

21 年度…71.6 歳
20 年度…75.0 歳
19 年度…73.8 歳



公債費比率

借金的一般財源に占める割合
10 歳以下…望ましい

21 年度…10.5 歳
20 年度…11.3 歳
19 年度…11.4 歳



財政力指数

財政上の力を示す指数
指数が1以上の団体は
財政力の強い団体といえる

21 年度…1.47
20 年度…1.51
19 年度…1.65



平成21年度に使われたお金を
町民一人当たり換算すると…

37万1,618円

(前年度 36万8,357円)

139億1,042万円 ÷ 37,432人
(一般会計) (H22.3.31)



■町民一人当たりを目的別に見てみると…

1	民 生 費	7万8,560円 (7万8,080円)
2	総 務 費	6万1,530円 (3万5,091円)
3	土 木 費	5万1,106円 (6万6,488円)
4	教 育 費	4万8,501円 (6万5,478円)
5	諸 支 出 金	4万1,787円 (2万2,178円)
6	公 債 費	2万7,605円 (2万8,164円)
7	衛 生 費	2万2,668円 (2万3,994円)
8	消 防 費	1万5,255円 (1万5,270円)
9	農 林 水 産 業 費	1万5,146円 (2万1,580円)
10	商 工 費	3,985円 (3,675円)
11	議 会 費	3,409円 (3,533円)
12	労 働 費	1,758円 (1,020円)
13	災 害 復 旧 費	308円 (3,806円)

() 前年度

決算審査報告

幸田町監査委員 鴨 下 登
大須賀 好夫

決算審査に付された各会計の歳入歳出決算書などは、いずれも関係法令などに準拠して作成されており、その計数は正確で、予算の執行はおおむね適正であると認められた。

◎一般会計・特別会計

一般会計と各特別会計の決算総額は、20年度と比較し、歳入・歳出のおの増加となった。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支をはじめ、実質収支、単年度収支は黒字であった。未収金について、町税の未済額の増加ペースは加速しており、憂慮するものである。収入未済債権については、債権ごとの確な処理を図るべく、体制整備を含め組織を挙げてよりきめ細かな取り組みが肝要である。

町の財政もやり繰りが大変になってきたので、これからはもつとのお金の使われかたに関心を持っていきたいと思えます。
R: そうですね。町の財政状況も一人一人が関心を持っていかなく

◎水道事業会計

水道事業会計は、大口受水者の景気後退などに伴う受水量の減少により、総収益が20年度と比べると減少したが、総費用も減少し、最終純利益は20年度並となった。引き続き良質低廉な水の供給に向けた取り組みが必要であるとともに、大口受水者の需要回復動向には注視すべきである。

◎総評

地方財政を取り巻く環境は政権交代により大きく変革を迎えた。平成21年度決算では、法人町民税が大幅な減収に陥り、財政運営上のやりくりが緊張を極めた決算であったと思われる。今後本町の行財政運営は、景気回復見通しに不透明感が払拭できず、ここしばらくはより厳しい運営を強いられることが予測される。限られた財源を最大限有効に活用し、安定した持続性のある行財政運営、住民サービスの向上に一層努められたい。

(平成21年度決算審査意見から)

ればいけないですね。
彦左さん: そのとおりじゃ。それを住民にわかりやすくお知らせするための、財政健全化の指標が公表されておるからそちらも見てみるかの。

◆平成21年度決算に基づく 財政健全化判断比率の公表

彦左さん…まず、財政健全化法について説明するかの。これは、平成18年6月の夕張ショックを発端に新しい法律ができ、平成19年度から毎年議会や住民に対して財政状況を公表することが義務付けられたのじゃ。

えこたん…財政健全化判断比率で何が分かるんですか？

彦左さん…そうじゃな、これまでの財政指標というのは、一般会計、土地取得特別会計と幸田駅前土地区画整理事業特別会計の3会計のみの決算額で計算する普通会計ベースの指標じゃったんだ。そのためほかの特別会計や第3セクター、公社といった外部団体でいくら赤字があっても指標上は黒字決算になっており、本当の財政状況がわからなかつたんじゃが、新しい法律ができて、それらをすべて含めた連結決算により指標を公表することになったんじゃ。

えこたん…じゃあ、数値が悪いとどうなるんですか？

彦左さん…基準を一つでも超えれば、健全化計画を作成しなければならなくなつたんじゃ。

R…それでは、各指標について教えてください。

彦左さん…それじゃあ、財政健全化判断指標を一つずつ説明していきましょうか。

まずは、**実質赤字比率**じゃ。

これは、福祉、教育、まちづくりなどの普通会計の赤字額を町税などの財源と比較して財政運営の深刻度を示しておるのじゃ。幸田町は黒字じゃから数値は計上されなかつたんじゃ。

次に、**連結実質赤字比率**じゃ。

これは、特別会計や第3セクターを含むすべての会計の赤字と黒字を足して、全体の資金不足を把握するため、町税などの財源と比較して財政運営の深刻度を示しておるのじゃ。幸田町には第3セクターや公社といった外部団体はないから、決算の報告をしている一般会計と8つの特別会計、それと水道事業会計の連結決算の指標じゃ。これも幸田町は黒字じゃから数値は計上されなかつたんじゃ。

次に、**実質公債費比率**じゃ。

これは、借入金の返済額などの大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示しておるのじゃ。幸田町は3カ年平均11・4%で基準値を下回っておるのじゃ。

えこたん…でも、あんまりいい数

値じゃないですよ？

彦左さん…そうじゃな。しかし、20年度数値は11・9%だったから0・5%改善されており、危険なレベルではないな。

次に、**将来負担比率**じゃ。

これは、借入金や将来支払っていく可能性のある負担の現時点での残高の程度を指標化して、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示しているのじゃ。幸田町は、20年は6・0%じゃつたが、21年は将来負担より貯金などの方が多くなったため数値は計上されなくなつたんじゃ。

えこたん…それじゃあ、安心ですね。

彦左さん…あくまで指標だから安心とは言い切れないが、今後不況の影響から数値が悪化してくるかもしれないので注意が必要だ。

最後に、**資金不足比率**じゃが、

これは農業集落排水事業、下水道事業、水道事業の3つの公営企業の資金不足を、それぞれの料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻化を示したもののじゃ。幸田町の公営企業はすべて黒字じゃから数値は計上されなかつたんじゃ。

えこたん…不況で心配してたけど、すべての指標がいい数値で良かった。

た。これからもしつかりチェックしなくっちゃね。

彦左さん…その通りじゃ。大変な経済危機を迎えた今こそ、住民も議会もみんなでチェックすることが大事なんじゃぞ。

R…ここではほんの少ししかお伝えできませんが、詳しいことがお知りになりたい人は、幸田町のホームページ「行政情報」の中の「財政」をご覧ください。役場へ来て聞いてください。

問合せ 財政課財政G

(内線3332)



1 財政健全化判断比率

下表のとおり、いずれの指標についても早期健全化基準を下回っています。 () は黒字比率

	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	— (▲ 5.2%)	13.34%
連結実質赤字比率	— (▲ 22.4%)	18.34%
実質公債費比率	11.4%	25.00%
将来負担比率	— (▲ 17.5%)	350.00%

※早期健全化基準

財政健全化判断比率のいずれかが早期健全化基準以上の場合、財政状況はイエローカードである「早期健全化段階」となり、財政健全化計画を定めなければならない。

○財政健全化判断比率の近隣市町状況

市町村名	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
幸田町	—	—	11.4%	—
岡崎市	—	—	0.4%	—
西尾市	—	—	7.2%	46.7%
蒲郡市	—	—	4.2%	—
吉良町	—	—	6.3%	34.7%
一色町	—	—	7.7%	78.1%
幡豆町	—	—	6.5%	51.3%
全国平均	13 団体(赤字団体数)	31 団体(赤字団体数)	11.2%	92.8%

※全国の自治体の状況については、総務省のホームページ (<http://www.soumu.go.jp/>) をご覧ください。

2 公営企業の資金不足比率

下表のとおり、資金不足を生じた公営企業はありません。 () は黒字比率

	資金不足比率	経営健全化基準
農業集落排水事業特別会計	— (▲ 9.0%)	20.0%
下水道事業特別会計	— (▲ 6.0%)	20.0%
水道事業会計	— (▲ 263.2%)	20.0%

※経営健全化基準

公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する比率であり、経営健全化基準（20%）以上となった場合には、経営健全化計画を定めなければならない。

(注) 健全化判断の指標は、数値が高いほど健全性が低く、逆に数値が低いほど健全性が高いと判断される指標で、▲は赤字や資金不足がなく、より健全であることを示しています。